

尼崎市提案型事業委託評価表

作成日 平成27年3月23日

事業名	小学生向けごみ減量・リサイクル啓発事業
事業者の名称	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 西日本支部
契約期間	平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 3月31日 (1 年目)
業務の概要	小学生向けごみ減量・リサイクルに関する啓発業務
所管課・課長名	経済環境局 環境部 資源循環課 課長 岡西 勝義
評価対象期間	平成26年 4月 1日 ~ 平成27年 2月28日

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	A	H26は初年度であったため、啓発対象のニーズを把握し、事業の効果的な進め方を事業者内部で検討し市へ次年度に向けた提案を行った。前年度以上の実績をあげるとともに、事業効果を高めた上で経費削減を行っている。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	事業目標・事業計画を策定し、適宜、市へ進捗報告が行われた。また適切な収支内容である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	B	業務の遂行上、必要な人員配置を行っている。組織規程として個人情報保護規程が定められている。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況

小学校でのごみ出前講座の実施と啓発冊子を活用した児童の実践活動を評価してマイスターの称号を付与している。前年度よりも各小学校との連絡を密にして、参加校数・参加児童数の増加を図っている。これまでの未実施校のうち5校でマイスタースクールを実現させ、さらに児童のワークシート提出率を高めることで、H26年度実績は目標以上の参加児童数と最高レベル到達児童数に達している。また、提案どおり、優秀な成績を修めたマイスター推進校に対し、オープンな場での表彰を実現させた。

取組んでいる事業内容等の評価

H26年度については、提案に沿った事業見直しにより改善が図られ、事業効果を高めることができた。また、当初の事業計画に加えて、啓発対象のニーズを把握した上で、より事業の効果を高める手法を検討して、次年度に向けた提案を行うなど、限られた予算の範囲でより効果的な運営を図っている。

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	小学校での啓発は、学校側の時間制約等の事情に影響されるため実績を高めていくことは困難な状況下でありながら、年間を通じて各小学校へ何度も出向き、講座開講の実現と、ワークシートによる児童の取り組みを促進させることができた。

* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2,3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

尼崎市提案型事業委託評価表

作成日 平成28年3月30日

事業名	小学生向けごみ減量・リサイクル啓発事業		
事業者の名称	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 西日本支部		
契約期間	平成27年 4月 1日 ~ 平成28年 3月31日 (2 年目)		
業務の概要	小学生向けごみ減量・リサイクルに関する啓発業務		
所管課・課長名	経済環境局 環境部 資源循環課	岡西 勝義	
評価対象期間	平成27年 4月 1日 ~ 平成28年 2月29日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	A	小学校からの意見を反映し、事業の効果的な進め方を検討し、実施した。また、限られた予算の範囲で、効率化・経費削減に努めたうえで、効果的な運営を行っている。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	事業目標・事業計画を策定し、適宜、市へ進捗報告が行われた。また適切な収支内容である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	B	業務の遂行上、必要な人員配置を行っている。組織規定として個人情報保護規定が定められている。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況

小学校でのごみ出前講座と啓発冊子を活用した児童の实践活动を評価してマイスターの称号を付与している。委託前より各小学校との連絡を密にして、参加校数・参加児童数の増加を図っている。
 また、実績については、委託前と比較して参加児童数・ゴールドレベル認定数は増加しており、委託前に9校あった未実施校のうち8校の実施を実現している。

取組んでいる事業内容等の評価

小学校からの意見・評価を参考に、学校側が参加しやすいシステムの構築に努めている。また、ごみ出前講座では、3R(リデュース・リユース・リサイクル)をより児童に理解してもらうために、新たな講座の設定・各講座で3Rの説明を取り入れるなど講座内容の改善にも努めている。

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	小学校と連絡調整を綿密にとっており、学校からのニーズ等の把握に努めている。また、平成19年度より1度も当事業に参加したことがない学校での実施についても着実に実現させている。 しかし、当事業は、小学校への啓発事業であり、実施には学校側の時間的制約等の事情が影響してくるため、参加困難な学校への働きかけなど、学校との連絡調整の強化に引き続き努める必要がある。

* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2,3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。

尼崎市提案型事業委託評価表

作成日	平成29年3月30日
-----	------------

事業名	小学生向けごみ減量・リサイクル啓発事業		
事業者の名称	公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 西日本支部		
契約期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 3月31日 (3 年目)		
業務の概要	小学生向けごみ減量・リサイクルに関する啓発業務		
所管課・課長名	経済環境局 環境部 資源循環課	檀野 浩司	
評価対象期間	平成28年 4月 1日 ~ 平成29年 2月28日		

評価項目	説明	評価	評価コメント
1 事業の効果			
市民サービス	市民サービス向上の取組がされているか	A	小学校からの意見を反映し、事業の効果的な進め方を検討し、実施した。また、限られた予算の範囲で、効率化・経費削減に努めたうえで、効果的な運営を行っている。
市民ニーズ	市民ニーズが的確に把握されているか		
シチズンシップ等の向上	市民のシチズンシップや団体の公共的分野を担う力の向上につながっているか		
地域経済活性化	地域経済の活性化への配慮がされているか		
経費節減等	効率化、経費節減の取組がされているか		
2 事業実施状況			
計画性・透明性	計画的に事業が実施され透明性が確保されているか	A	事業目標・事業計画を策定し、適宜、市へ進捗報告が行われた。また適切な収支内容である。
収支状況	収支状況が適切かつ良好であるか		
3 事業執行体制			
人員配置	合理的な配置であるか	A	業務の遂行上、必要な人員配置を行っている。組織規定として個人情報保護規定が定められている。また、緊急時の対応についてもマニュアルの中に盛り込み整備がされている。
危機管理	事故時等の体制等が整備されているか		
情報管理	個人情報等の管理が適切であるか		

主に取組んでいる事業内容・進捗状況
<p>小学校でのごみ出前講座と啓発冊子を活用した児童の実践活動を評価してマイスターの称号を付与している。また、評価の高かった学校へはマイスター推進校として表彰している。</p>

取組んでいる事業内容等の評価
<p>小学校関係者の集まる会合等にも積極的に参加し、当事業の広報を行い、参加校・参加児童数の増加を図っている。また、小学校からの意見・評価を参考に、学校側が参加しやすいシステムの構築に努めている。ごみ出前講座では、3R(リデュース・リユース・リサイクル)をより児童に理解してもらうために、講座内容の改善にも努めている。</p>

総合評価	評価の理由、今後の課題等
A	<p>当初の事業計画どおり業務を遂行しており、常に学校からのニーズ等の把握に努めている。また、実績についても、昨年度より参加校・参加児童数を増やしている。今後については、新たな講座の設定等により当事業のさらなる活性化に努めていただきたい。</p>

* 評価は、A～Dの4段階評価とする。

* 確認調査の結果をチェックリストに記入する。更に1～3の大項目ごとに評価を行った後、総合評価を行うこと。

* (評価項目1) 行政実施時と比較して、A:非常に効果があった。 B:効果があった。 C:同等の実施水準であった。 D:実施水準が下がった。

* (評価項目2,3) A:非常に良好であった。 B:良好であった。 C:やや改善の余地があった。 D:多くの改善すべき点が見受けられた。